

第3期天草市五和地域まちづくり計画

～自然や文化を後世につなぎ、心豊かに暮らせるまちづくり～

天草市 五和地域

策 定 日	令和5年3月1日
改 正 日	初版

第3期天草市五和地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1～2
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
1.4	計画の体系	2
2	五和地域の概要	3～5
2.1	位置・地勢	3
2.2	面積・土地利用	3
2.3	人口・世帯数	4～5
3	計画の基本方針	6
3.1	計画の基本理念	6
3.2	部門方針	6
4	分野別行動計画	7～10
4.1	産業経済部門	7～8
4.1.1	特色・課題	7
4.1.2	具体的な振興方策	7～8
4.2	観光・文化部門	8
4.2.1	特色・課題	8
4.2.2	具体的な振興方策	8
4.3	地域振興・教育部門	9
4.3.1	特色・課題	9
4.3.2	具体的な振興方策	9
4.4	保健・医療・福祉部門	9～10
4.4.1	特色・課題	9
4.4.2	具体的な振興方策	10
4.5	生活環境・防犯防災部門	10
4.5.1	特色・課題	10
4.5.2	具体的な振興方策	10

5	計画の推進体制	11
5.1	実施	11
5.2	評価・改善	11
6	地域別計画	12～32
6.1	御領地区振興計画	12～15
6.2	鬼池地区振興計画	16～19
6.3	二江地区振興計画	20～23
6.4	手野地区振興計画	24～27
6.5	城河原地区振興計画	28～32

1 計画のあらまし

1.1 計画策定の趣旨

平成18年3月27日、2市8町が合併して天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本市においては、人口減少の急速な進展による過疎地域の増加や担い手不足による地域産業の衰退、さらには市民ニーズの多様化や少子高齢化への対応など多くの課題を抱えております。

このような地域社会を取り巻く環境の変化を、住民一人ひとりが「自分ごと」、「みんなごと」と捉え、地域住民と行政協働のもと、地域の特色や個性を活かした活動をできるところから実行し、「地域力」を高めていくことが重要になっています。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市五和地域まちづくり計画」を策定し、「自然や文化を後世につなぎ、心豊かに暮らせるまちづくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第2期天草市五和地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第3次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

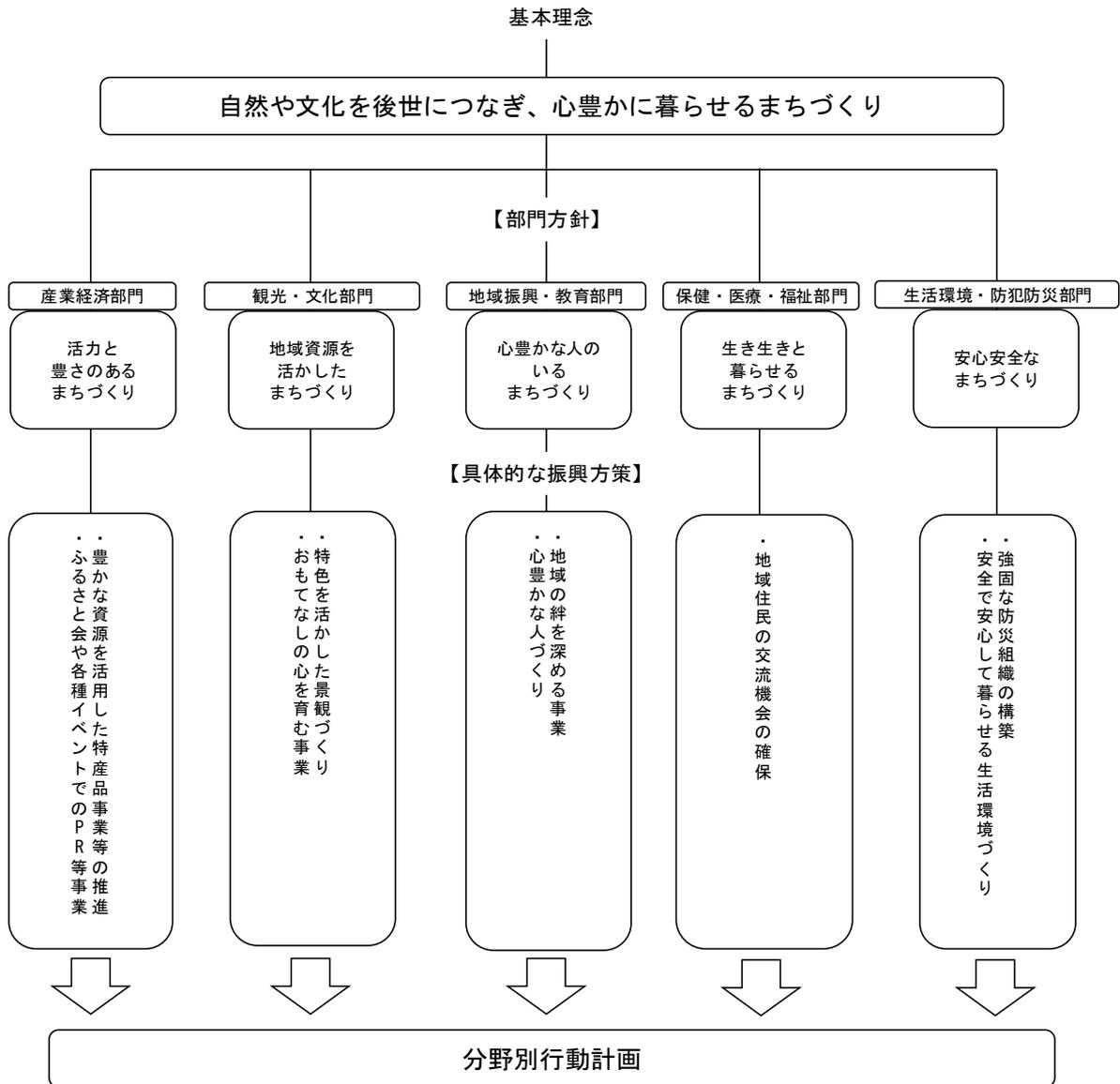
1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和7年度までの3年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

1.4 計画の体系

図1 天草市五和地域まちづくり計画の方策の体系



2.3 人口・世帯数

表2 五和地域の人口、世帯数の推移

区分	2005(H17)年	2010(H22)年	2015(H27)年	2022(R2)年
人口(人)	9,932	9,137	8,168	7,369
世帯数(世帯)	3,326	3,161	3,004	2,836
世帯当たり人員(人)	2.99	2.89	2.72	2.60

(国勢調査)

図3 五和地域の人口、世帯数の推移

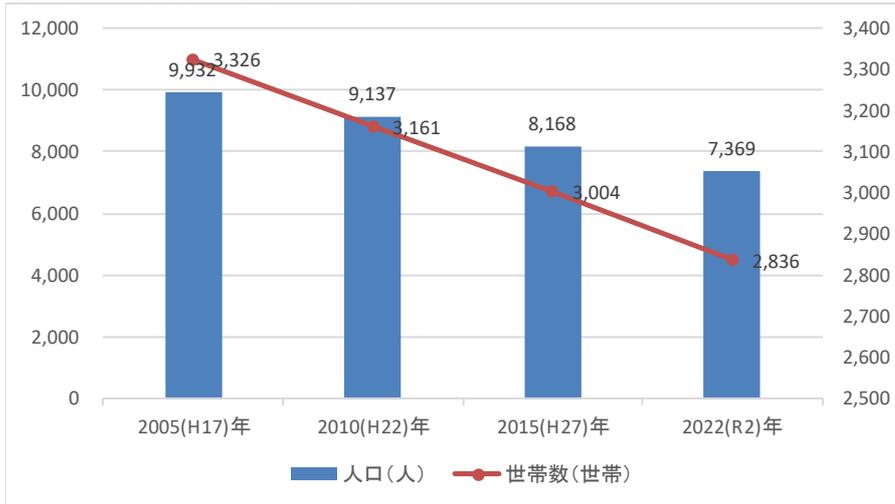


表3 五和地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	2005(H17)年		2010(H22)年		2015(H27)年		2022(R2)年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
総人口	9,932	100.0	9,137	100.0	8,168	100.0	7,369	100.0
0~14歳	1,178	11.9	948	10.4	761	9.3	606	8.2
15~64歳	5,145	51.8	4,620	50.6	3,853	47.2	3,132	42.5
65歳以上	3,609	36.3	3,568	39.1	3,554	43.5	3,381	45.9

(国勢調査)

※総人口には年齢不詳者を含むため、年齢階層別人口の合計とは一致しません。

図4 五和地域の総人口、年齢階層別人口の推移

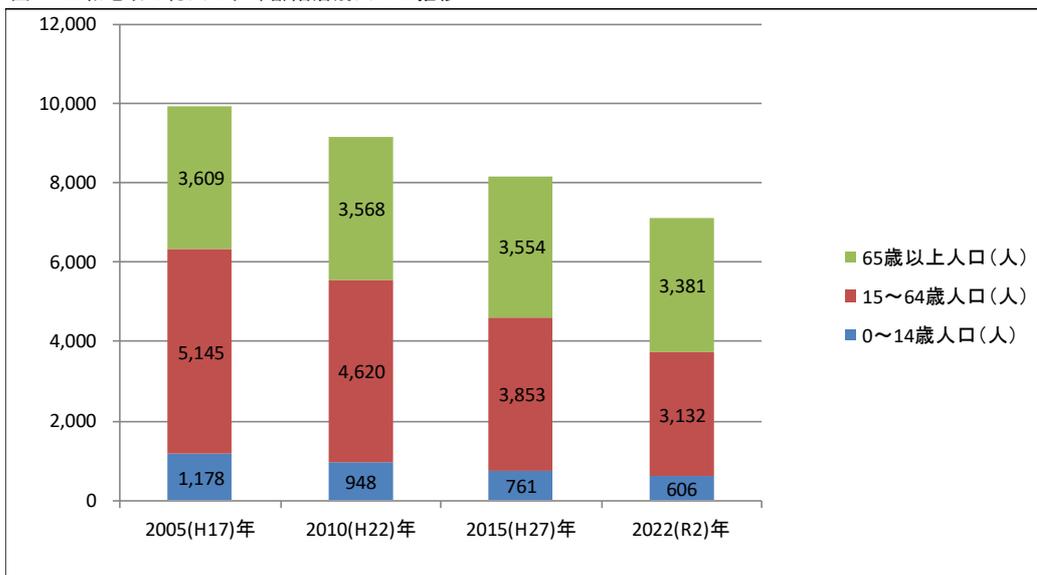


表4 五和地域の産業別就業者数の推移

区分	2005(H17)年		2010(H22)年		2015(H27)年		2022(R2)年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
就業人口総数	4,390	100.0	3,885	100.0	3,584	100.0	3,220	100.0
第1次産業	966	22.0	811	20.9	682	19.0	571	17.7
第2次産業	1,008	23.0	743	19.1	686	19.1	617	19.2
第3次産業	2,416	55.0	2,265	58.3	2,215	61.8	2,029	63.0

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図5 五和地域の産業別就業者数の推移

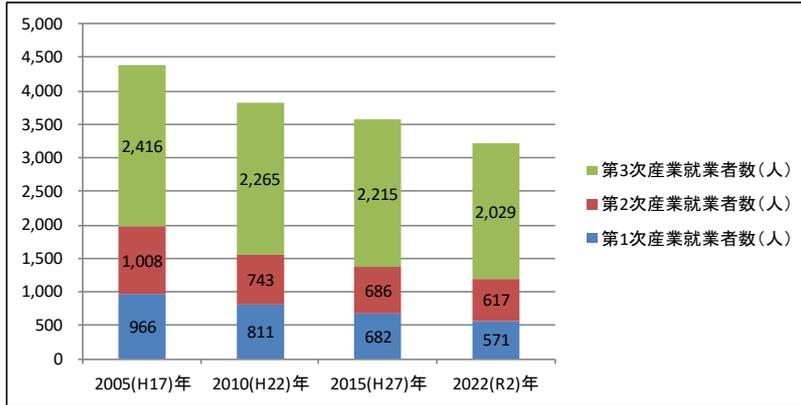


表5 五和地域の総人口、年齢階層別人口の推移 (将来予測)

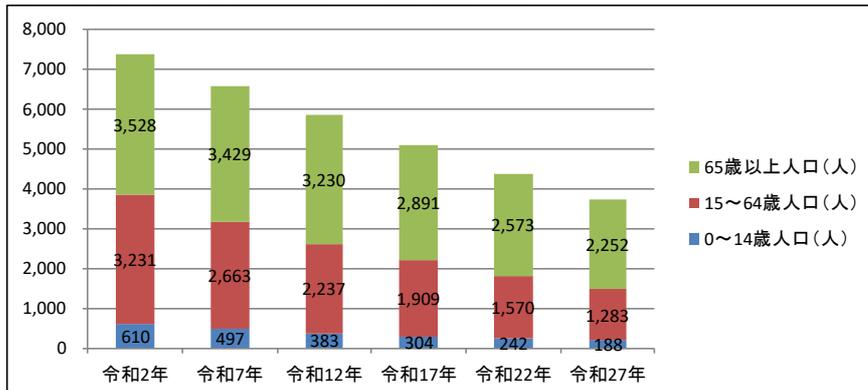
区分	2020(R2)年		2025(R7)年		2030(R12)年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
総人口	7,369	100.0	6,589	100.0	5,850	100.0
0~14歳	610	8.3	497	7.5	383	6.5
15~64歳	3,231	43.8	2,663	40.4	2,237	38.2
65歳以上	3,528	47.9	3,429	52.0	3,230	55.2

区分	2035(R17)年		2040(R22)年		2045(R27)年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
総人口	5,104	100.0	4,385	100.0	3,723	100.0
0~14歳	304	6.0	242	5.5	188	5.1
15~64歳	1,909	37.4	1,570	35.8	1,283	34.5
65歳以上	2,891	56.6	2,573	58.7	2,252	60.5

(令和2年：国勢調査、令和7～令和27年：市政企画課)

※平成27年(2015年)から令和2年(2020年)の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて令和7年から令和27年までの将来予測人口を算出。

図6 五和地域の総人口、年齢階層別人口の推移 (将来予測)



3 計画の基本方針

3.1 計画の基本理念

自然や文化を後世につなぎ、心豊かに暮らせるまちづくり

本地域において、生活スタイルやまちづくりに対するニーズが多様化・複雑化する中で、地域住民一人ひとりの主体的な取り組みを基本としつつ、地域住民と行政の協働のもと、継続的にまちづくりを実践できるように、様々な課題に計画的に取り組むことが重要になってきます。

地域住民一人ひとりが主役となり、できることから始め、五和地域の産業や豊かな自然・文化を後世に残すことにより、地域住民が心豊かに暮らせる、そのようなまちづくりの基本理念を「自然や文化を後世につなぎ、心豊かに暮らせるまちづくり」とし、生きいきとした個性あるまち五和づくりを推進します。

3.2 部門方針

本計画の基本理念に即し、次のとおり分野別に方針を定め、本地域のまちづくりを展開します。

①産業経済部門

活力と豊かさのあるまちづくり

②観光・文化部門

地域資源を活かしたまちづくり

③地域振興・教育部門

心豊かな人のいるまちづくり

④保健・医療・福祉部門

生き生きと暮らせるまちづくり

⑤生活環境・防犯防災部門

安心安全なまちづくり

4 分野別行動計画

各地区におけるアンケートや意見交換会、また、本地域全体ワークショップで、本地域の特色と課題を分野別に洗い出しました。また、部門方針及びそれに基づいた具体的な方策を本地域全体ワークショップで検討し、地域主体で取り組むもの、地域と行政との協働で取り組むもの、行政主体で取り組むものを分野別に分類しました。

4.1 産業経済部門

4.1.1 特色・課題

特色	①農産物、海産物が豊富 ②畜産業や加工業、製塩業も盛ん ③地域資源を活かした特産品がある
課題	①後継者不足 ②耕作放棄地の増加 ③PR不足

4.1.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
① ② ③	① ② ③	ふるさと会PR等事業 関東・関西等で開催されるふるさと会等において、特産品のチラシ配布などのPR活動を行い、五和産品の知名度アップを図る。	R5～:各ふるさと会に年1回参加する。				→	まち協 + 行政	政策 15
① ② ③	① ② ③	物産市の開催 鬼池港、鬼の城公園などの五和地域の施設において物産市のイベントを開催（後援）し、五和産品の販売促進につなげる。	R5～:年2回以上実施する。				→	まち協 + 振興会	政策 15
① ② ③	③	情報発信 物産市や各地区のイベントについて、当協議会や各地区のホームページを活用して周知を行う。	R5～:年間を通して実施する。				→	まち協 + 振興会	政策 15

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
① ② ③	① ② ③	ECサイトの推進 ECサイト（ネット販売） の充実を図ることで、五和 産品のPRを行い、販売促 進活動を推進する。また併 せて、五和地域オリジナル 段ボールの販売も行ってい く。	R5～：ECサイトへの 事業者登録10社。 R5～：段ボールの販売 年間200個。					まち協 + 振興会	政策15

4.2 観光・文化部門

4.2.1 特色・課題

特色	①観光・文化資源が豊富 ②地域イベントが盛ん ③豊かな自然が多い
課題	①観光・文化資源の活用、PR不足 ②伝統行事の担い手、後継者不足 ③景観維持活動が困難

4.2.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
① ③	①	ホテル便交流事業 五和小児童が福岡の施設 等を慰問し、城河原のホテル をプレゼントすることで 幼少期からの交流を図る。	R5～：年1回実施す る。					まち協 + 振興会	政策6
③	③	景観整備活動 内野川河川敷のツツジの 手入れ等、景観整備や環境 保全活動を行う。	R5～：年間を通して実 施する。					まち協 + 振興会	政策36

4.3 地域振興・教育部門

4.3.1 特色・課題

特色	①地域（観光）資源が豊富 ②地域主体による行事が展開されている ③子どもの見守り体制が整っている
課題	①少子高齢化 ②地域連携の希薄化 ③地域リーダー等の人材不足

4.3.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
① ②	② ③	まちづくり講演会 まちづくりへの関心を高めていくため、先進地から講師を招聘し、講演会を開催する。	R5～：年1回開催する。（※開催は視察研修実施と調整を行い、どちらかを実施する。）					まち協 + 振興会	政策1
① ②	② ③	視察研修 活発にまちづくり活動を実施している先進地へ赴き、取り組みの状況を学び、まちづくり活動の活性化につなげる。	R5～：年1回開催する。（※実施は講演会開催と調整を行い、どちらかを実施する。）					まち協 + 振興会	政策2

4.4 保健・医療・福祉部門

4.4.1 特色・課題

特色	①健康づくりの意識が高い ②環境を活かした健康づくり ③住民の相互意識が高い
課題	①高齢者の生きがいづくり ②高齢者への支援不足 ③公共交通の減少による移動困難

4.4.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
① ② ③	①	地域住民の交流機会の確保 敬老会やグラウンドゴルフ大会、また各種サークル活動を通して、地域住民が生き生きと暮らせるまちづくりを目指す。	R5～：各種行事を年1回以上開催する。					振興会 + 社協	政策 19 政策 20

4.5 生活環境・防犯防災部門

4.5.1 特色・課題

特色	①高齢者の健康づくりの意識が高い ②交通安全・防犯活動が活発 ③防災意識が高い
課題	①子どもの安全確保 ②環境美化問題 ③自主防災組織の形骸化

4.5.2 具体的な振興方策

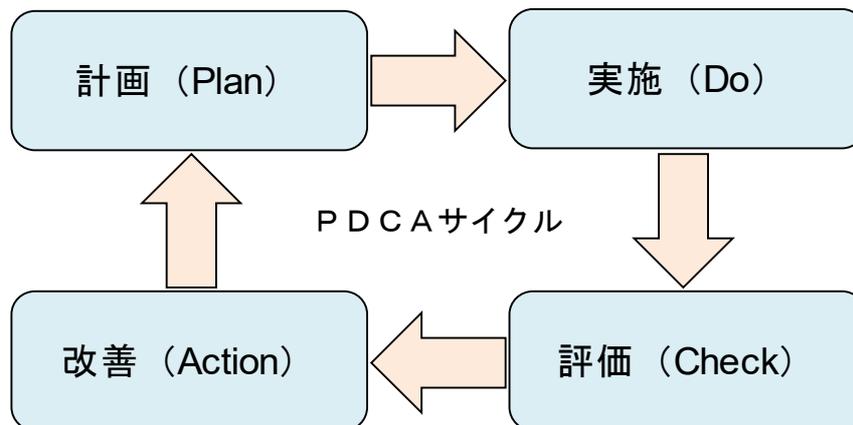
特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
① ② ③	① ② ③	安全で安心して暮らせるまちづくりの構築 防犯パトロールや交通安全活動、また自主防災組織の活動等を通して、地域住民が安心して暮らせるまちづくりを目指す。	R5～：年間を通して活動を行う。					振興会 + 自主防災組織	政策 30 政策 32

5 計画の推進体制

本計画の推進体制については、五和まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図7 天草市五和地域まちづくり計画の評価・見直し(PDCAサイクル)



5.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に五和まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

5.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度1回以上五和まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p style="text-align: center;">(大島地区の街並み・亀島の風景)</p>	
面積(km ²)	11.6km ²		
人口(人)	総人口		2,474人
	15歳未満		203人
	15～64歳		1,066人
	65歳以上		1,205人
高齢化率(%)	48.7%		
就業人口(人)	第1次産業		148人
	第2次産業		195人
	第3次産業		644人
世帯数(世帯)	総世帯数	857世帯	
	高齢単身者	169世帯	
行政区数(区)	8区		
学校	五和小学校、五和中学校		
文化財・史跡	ペーが墓(キリシタン墓碑群)、岩宗のキリシタン墓碑群、御領神社 二の鳥居、芳證寺 衆寮堂、豪商石本家屋敷 浦園の穴観音、鬼の城石仏群と大師像、岩谷観音、芳證寺、馬場の石橋、黒崎の石橋、一尾貝塚(縄文時代中期～晩期中頃)、松崎の五輪塔(通称:松崎どん)、中の尾の五輪塔、庚申塔		
その他地域資源	黒崎海水浴場、若宮海水浴場、亀島、鬼の城公園、御領門前町商店街、松崎台地、御領石の石垣		
地域伝統芸能	御領神社秋の例大祭、大島神社秋の例大祭、小串阿蘇神社秋の例大祭(行列、獅子舞、神輿など)		
地域づくり団体			
地区のいいところ・自慢できるところ			
御領地区は、御領石(阿蘇溶結凝灰岩)の恩恵を受け、市の指定文化財や史跡が多く点在し、文化の薫る街並みが残る。例えば、良質の野菜を年中栽培できる松崎台地の地盤は御領石であり、この御領石が雨天のときには雨水を貯え、日照りの時は水分を蒸発させ、土壌に湿りをもたらす作用を行っている。また、濾過の作用もあり、排出される水はきれいで、流れ込む近海では多くの魚を採ることができる。御領石は加工しやすく建築物や日頃使うものまで様々なものに利用されてきた。御領を歩けば至る所で御領石を見ることができる。 平成18年から住民総参加を合言葉に、御領門前町商店街を地域資源竹灯ろうや石灯ろうで幻想的な光に包みこむ「御領石竹秋宵まつり」などのイベントも実施している。			
地区が抱える課題・困っていること			
○少子高齢化に歯止めがかからず、地区の人口は減少するばかりであり、地区の行事自体の存続が危ぶまれている状態である。また、農業の担い手・後継者が不足し、田畑等農地の耕作放棄地が増加傾向にある。 ○コミュニティ活動のキーパーソンが高齢化や固定化し、一部の住民での取り組みになってしまっている。自分たちの地域は自分たちで創りあげていくという共通認識をもっていたりするための取り組みを行う必要があり、まちづくりに対する意識の向上をいかにして図るかが課題である。 ○核家族化と高齢者の単身世帯などが増加し、助け合いや見守りが不足している。			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	伝統・文化の受け継がれる魅力ある地域の構築
考え方	御領地区の伝統や文化を継承しつつ、「感謝の心で住民総参加」を合言葉に地域住民が「御領地区に住んでいて良かった」と感じるような魅力ある地域の構築を目指し取り組む。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・耕作放棄地の増加、担い手・後継者不足 ・若者が定住できるような雇用の場が少ない	○活力と豊かさのあるまちづくり ・まっさき市
【B】 観光 ・ 文化	・「御領石竹秋宵まつり」には、毎年多くの方が来訪されご好評をいただいている ・「御領史跡探訪」、「御領石彫刻教室」を実施し、地域の歴史の継承に努めている ・豊かな自然や景観を守るため環境保全活動を行っている(国道沿線の景観づくり)	○地域資源を活かしたまちづくり ・御領石竹秋宵まつり ・御領史跡探訪 ・御領石彫刻教室 ・景観整備活動
【C】 地域 振興	・人口の減少と高齢化率の上昇 ・コミュニティ活動の人員の固定化と高齢化	○心豊かな人のいるまちづくり ・御領地区運動会 ・まちづくり新聞「御領」発行
【D】 教育	・子供たちの環境教育を目的として「海の日フェスタ」、伝統継承を目的として「御領石くまもん彫刻教室」を開催している	○心豊かな人のいるまちづくり ・海の日フェスタ ・御領石くまもん彫刻教室
【E】 保健・医療 ・福祉	・独居高齢者世帯の増加 ・健康増進を目的として、「球技大会」・「グラウンドゴルフ大会」を実施している	○生き生きと暮らせるまちづくり ・御領地区球技大会 ・御領地区グラウンドゴルフ大会 ・御領地区敬老会
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・豊かな自然や景観を守るため清掃活動を行っている	○安心安全なまちづくり ・一日一汗運動 ・防災訓練

御領地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期		長期			
				R5	R6	R7	4年以上		
B	御領石竹秋宵まつり	約5,000本の竹・石燈籠で御領の街並みを照らす御領石竹秋宵まつりを実施する	4,000人以上の参加					振興会	
B	御領史跡探訪	御領の文化を地域住民に知ってもらい、地元への愛着を深めてもらうことを目的として、御領史跡探訪を実施する	50人以上の参加					振興会	
B	御領石彫刻教室	地域に古くからある資源「御領石」周知を図るため御領石でお地蔵様を彫刻する御領石彫刻教室を実施する	10人以上の参加					振興会	
B	景観整備活動	景観の保全向上に努め、地域住民の美化意識の高揚や美化運動に資することを目的として景観整備活動を行う	年間12回以上実施					振興会	
C	御領地区運動会	御領地区住民の健康増進及び、住民相互の親睦と融和を図るため御領地区運動会を開催する	800人以上の参加					振興会	
C	まちづくり新聞「御領」発行	地域情報誌としてまちづくり新聞「御領」を発行し、御領地区全戸へ配布する	6月・12月発行予定					振興会	
D	海の日フェスタ	子供たちに海の大切さを知ってもらうため管内海水浴場においてゴミ拾いを実施する	100人以上の参加					振興会	
D	御領石くまもん彫刻教室	地域に古くからある資源「御領石」を次世代を担う子供たちに知ってもらうため御領石でくまもんを彫刻する御領石彫くまもん刻教室を実施する	10人以上の参加					振興会	
E	御領地区球技大会	御領地区住民の健康増進及び、住民相互の親睦と融和を図るため御領地区球技大会を開催する	100人以上の参加					振興会	
E	御領地区グラウンドゴルフ大会	御領地区住民の健康増進及び、住民相互の親睦と融和を図るため御領地区グラウンドゴルフ大会を開催する	50人以上の参加					振興会	
E	御領地区敬老会	高齢者の方へ敬老の意を表し、高齢者の生きる意欲をより一層高めてもらうため御領地区敬老会を実施する	500人以上の参加					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

御領地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
	該当なし								

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p>(鬼池地区天神山からの風景)</p>	
面積(km ²)	6.4km ²		
人口(人)	総人口		840人
	15歳未満		64人
	15～64歳		359人
	65歳以上		417人
高齢化率(%)	49.6%		
就業人口(人)	第1次産業		59人
	第2次産業		75人
	第3次産業		251人
世帯数(世帯)	総世帯数	362世帯	
	高齢単身者	86世帯	
行政区数(区)	5区		
学校	—		
文化財・史跡	一石一宝塔、半田の六面塔、神の畑の六地藏と古墳群、金毘羅宮の武者絵と天井絵		
その他地域資源	天神山、鬼池港、鬼池城跡、鬼池の塩田跡、鬼池小学校跡		
地域伝統芸能	鬼池菅原神社行列		
地域づくり団体	さしよりやってみゆう会		
地区のいいところ・自慢できるところ			
<p>【ひとがら】人情豊かで温かく優しく明るい性格で、素朴さがあり人々の仲も良い地域</p> <p>【自然環境】美しい海山等の自然に囲まれ、緑が豊富で空気がきれいで気候も温暖。また、騒音もなく静かで平和な雰囲気であり、住環境は良い。</p> <p>【生活環境】天草の北玄関に位置し、フェリー・バスの便も比較的良好。本渡地域へも近いので買物等も便利。</p> <p>【地域資源】360度の展望が臨める天神山があり、引坂松原海岸には、清掃等自然環境保全活動の成果により、アカウミガメが産卵に訪れるようになった。鬼池港の整備活用も今後期待される。</p>			
地区が抱える課題・困っていること			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が温和すぎて、活気と積極性に欠ける。 ・少子高齢化率が高く、若い人・子ども達が少ない。 ・高齢者人口が多いため、高齢福祉の充実と健康増進を図る必要がある。 ・空き家はあるが、貸家はない。 ・田畑など、農地の耕作放棄地が目立ってきている。 ・農業・漁業の担い手、後継者が少ない。 ・まちづくりの担い手となる若い人に地域の活動にもっと参画してほしい。 			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	環境と人にやさしい持続可能なまちづくり
考え方	環境が美しく、鬼池で生活する人、鬼池を訪れる人にやさしくあってこそそのまちづくりであるとの理念の下、清掃等地域の環境保全活動による美しい鬼池の環境を守り維持しながら、地域の人々が住んでよかったと思え、訪れる人が来てよかった、また来たいと思えるまちづくりに取り組む。また、住民同士の世代を超えた温かな交流がこれからも続いていくよう、環境・社会・経済において持続可能なまちづくりのモデルを作る。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・農業、漁業の担い手、後継者が少ない ・田畑等農地の耕作放棄地が目立ってきている ・地域の商店が閉店し、地域内での買い物ができない状態である ・天草の北の玄関口である鬼池港で物産販売会やみなと市を開催している 	<ul style="list-style-type: none"> ○活力と豊かさのあるまちづくり ・産業文化祭 ・鬼池港物産販売会 ・鬼池港みなと市
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・海と山の美しい自然環境に恵まれ、景観を維持するための清掃活動も活発に行われている ・鬼池のシンボルである天神山をコース内に取り入れた「天神山潮風ウォーキング」を実施している ・平成23年度から実施している「鬼池ひなの会」は地域住民及び他地区からの訪問者の交流の場となっている ・海岸沿いの漂着ゴミや漁港に放置された漁船が景観を損ねている 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を活かしたまちづくり ・天神山祭 ・天神山潮風ウォーキング ・鬼池ひなの会 ・市道清掃 ・一日一汗運動 ・海岸清掃 ・花いっぱい運動
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と高齢化の進行により、行事への参加者が減少している ・地域住民と帰省客との交流を目的とした「鬼池ふるさと夏祭り」を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ○心豊かな人のいるまちづくり ・球技大会 ・鬼池ふるさと夏祭り ・「鬼池おこしかわら版」の発行
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校校区が合併により拡大したことに伴う子どもの孤立化が懸念される ・子育て世代の共働きの増え、学校の長期休暇中の児童の世話に苦慮している ・各自主サークル教室の構成員数に変化が無く、高齢化している ・次世代を担う人材育成が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○心豊かな人のいるまちづくり ・鬼池地区児童クラブ(学童保育) ・自主サークル活動 ・視察研修
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の約半数を占める高齢者の健康で豊かな生活を目指す ・振興会の健康推進部で運動教室や地区内3ヶ所でラジオ体操の集い実施している ・高齢化が進み、個人での対応が困難になってきている(買い物困難者など) 	<ul style="list-style-type: none"> ○生き生きと暮らせるまちづくり ・健康増進運動教室 ・ラジオ体操の集い ・男の料理教室 ・ふれあいグラウンドゴルフ大会 ・敬老会
【F】 生活環境 ・ 防災防災	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に防犯ボランティア組織を結成 ・小学校の統合があり、地域の小学生の通学距離が伸びている(通学バス対象外) ・自主防災会において、地区全体の避難訓練を実施している ・耕作放棄地や空き家が増え雑草除去が課題となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心安全なまちづくり ・避難訓練 ・防犯ボランティアパトロール隊による地域の子ども・高齢者の見守り ・河川清掃

鬼池地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
A	鬼池みなと市	鬼池港において、地域の特産品を集めた物産市を実施	年数回実施	→				振興会 まち協	
A	鬼池地区産業文化祭	自主サークルの作品・児童生徒作品の展示、農水産物等の出店展示・同販売会、婦人部バザー等を実施。年々出店作品の減少が続いている。	参加者数200名以上	→				振興会	
B	鬼池ひなの会	地域に残る「ひな人形」を地区コミュニティセンター等に展示し、交流と憩いの場を創出する。展示期間中ひな祭りにまつわる各種のイベントを企画実施している。	来場者数2,000人以上	→				実行委員会(文化部)	
B	一日一汗運動	世代間交流の促進、環境美化意識の高揚を図るため、今後も継続して実施していく。	年1回実施	→				振興会	
B	環境整備・花いっぱい運動	住民の環境美化意識が向上と、鬼池地区を訪れる多くの方々をもてなす意味で、港および国道沿線の花壇を整備。花壇6箇所、年2回花植えを行う。除草、水やり作業を行う。	花壇6か所、年2回実施	→				振興会	
B	市道清掃作業	地域環境の保全と保護を目的に、市道沿線の除草作業を4月、10月の年2回実施。参加者は延べ800人。	4月、10月の年2回実施	→				振興会	
B	海岸清掃作業	地域環境の保全と保護を目的に、鬼池地区沿岸の清掃活動を年に1度実施している	年1回実施	→				振興会	
B	天神山潮風ウォーキング	鬼池地域のPRと交流人口増による地域活性化を目的として実施する。将来的にはウォーキング参加者が定期的に来訪するような鬼池のファンづくりを目指す。	年1回実施	→				振興会	
C	鬼池地区球技大会	年に1度、ソフトボールとミニバレーを地区対抗で開催している。	参加者数100名以上	→				振興会	
C	鬼火焼き事業	各区ごとに住民が集まり、新年の挨拶をしながら鏡餅を鬼火で焼き、無病息災を祈る。	火事を起こさないように細心の注意をはかる。	→				振興会	
C	広報紙発行事業	地域内の住民や鬼池出身者へ、定期的な情報提供する必要がある。今後は、地元に着目した話題をより多く掲載すること等により、記事の充実を図る。	年3回、各600部発行	→				振興会	
C	鬼池ふるさと夏祭り	地域の子どもから高齢者まで一同に会し楽しめるイベントとしてお盆時期に実施。	年1回実施	→				振興会	
D	婦人部視察研修	県内の先進的な婦人団体等の事例に学び、婦人部活動を活性化することを目標とし次世代の人材育成につなげていく。	参加者数10名以上	→				振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

鬼池地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
D	鬼池地区児童クラブ	長期休暇中の子ども達に適切な遊びや生活の場を提供しまた地域の人々との交流を目的に実施	春夏冬期の長期休暇に実施					振興会	
E	敬老会事業	75歳以上を対象に、式典と演芸を行っている。内容については、例年同じようなプログラムで実施しているため、マンネリ化しないよう内容を十分検討し工夫している。	年1回実施					振興会	
E	ふれあいグランドゴルフ大会	健康増進、世代間交流、高齢者福祉の充実が図られている。参加メンバーにあまり変化が無いため、今後は、新たな参加者の掘り起しを図る必要がある。	年2回実施					振興会	
E	65歳以上を対象とした健康増進運動教室	高齢者の健康増進、生きがいつくり、交流促進等を図るため実施している。	月2回実施					振興会	
E	男の料理教室	地区の食生活改善推進員の協力を得ながら参加者の入れ替え、メニューの検討をしながら実施していく。	年1回実施、参加者10名以上					鬼池地区社協	
F	防犯ボランティア事業	これまでのパトロール隊としての組織を見直し、現在は個人的に子どもたちの登下校時や高齢者の見守り等の活動を実施していただいている。	登下校時に毎日実施					振興会	
F	河川愛護作業	地域環境の保全と保護を目的に、河川の清掃活動を年1回実施	年1回実施					振興会	
F	地区自主防災会運営	「自分たちの地域は自分たちで守る」をスローガンに、今後も継続して事業を実施する。今後は高齢者や要介護者等の社会的弱者に対する避難訓練について取り組んでいきたい。	年1回実施					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

鬼池地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	5年以上		
	該当なし								

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p>(二江地区の街並み)</p>	
面積(km ²)	5.9km ²		
人口(人)	総人口		2,298人
	15歳未満		186人
	15～64歳		1,019人
	65歳以上		1,093人
高齢化率(%)	47.6%		
就業人口(人)	第1次産業		161人
	第2次産業		187人
	第3次産業		599人
世帯数(世帯)	総世帯数	907世帯	
	高齢者単身	187世帯	
行政区数(区)	10区		
学校			
文化財・史跡	六角井戸(通詞という地名の由来)沖ノ原貝塚遺跡(天草式製塩土器)、侍どんの墓(キリシタン墓碑群)、東古墳・西古墳、島の梵字塔(ねずみ塚)、寛政津波の供養塔、南無妙法蓮華經の墓、烽火場跡		
その他地域資源	イルカウォッチング、通詞島、素潜り漁、恵比寿様、せどや、製塩所		
地域伝統芸能	二江神社秋の例大祭(行列、獅子舞、神輿など)		
地域づくり団体			
地区のいいところ・自慢できるところ			
<p>二江の沖は早崎瀬戸と呼ばれる急流で、有明海と天草灘が交じり合う豊かな水産資源に恵まれており、漁師と野生のイルカが海の恩恵を分かち合い共存している貴重な海域である。一本釣りや延縄漁、素潜り漁が中心に営まれ、今でも男性の素潜り漁師が50人程おり、ウニやアワビ、海藻を獲っている。また、二江沖を回遊する野生のイルカの群れは1年を通して観察することができ、平成5年にまちおこしで始まったイルカウォッチングは、年間10万人を超える観光産業となった。</p> <p>町並みも、漁村特有の住宅が密集した「せどや」と呼ばれる集落が残っている。そこでは、集落ごとに漁業の神様である恵比須様が祀られており信仰も厚い。</p> <p>また、二江沖に浮かぶ周囲約4キロの通詞島は、豊かな自然をはじめ、中国式の六角井戸などの歴史遺産、古い伝説も多く残り、平成21年に「にほんの里100選」や「島の宝100景」に選定されている。</p>			
地区が抱える課題・困っていること			
<p>高齢化率(65歳以上)が47.6%、高齢者単身世帯が20.6%となっており、福祉、防災・防犯など様々な面において地域コミュニティの重要性が高まってきている。</p> <p>経済面では、主要産業の漁業が魚価の低迷や原油高などにより活力を失いつつあり、早急な対策が望まれている。</p> <p>少しずつではあるが、まちづくりに対する関心は高まってきているものの、その趣旨が地区全体に浸透しているとは言い難い。また、振興会メンバーが固定化・高齢化の傾向にある中、活動に広がりを持たせるためにも、現役世代の若者を始め、異業種、退職した人など、幅広い世代・分野からの人材を、まちづくり活動に巻き込む必要がある。</p>			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	きてみんな！心も大漁ふたえんもん
考え方	『きてみんな』とは、地元で「どうぞお出てください」という言葉。イルカを核としながらも地域資源を活かしたツーリズム事業やイベントなどを通して交流人口の増加を図り、地域活性化を目指す。また、地域コミュニティの基盤である11の自治公民館組織を中心とした活動を継続・発展させることで、地域の連携強化、郷土愛の育成、共助の精神を養い、持続可能な地域コミュニティを構築し、住民が心豊かに暮らせる『心も大漁』のまちづくりを目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・主要産業である漁業が、漁獲量の減少、魚価低迷、燃料費高騰により後継者が減ってきており活気を失いつつある。 ・イルカウォッチング観光客の来訪が、地域の消費拡大につながっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活力と豊かさのあるまちづくり ・はやさき市の開催 ・二江産加工食品の販売 ・通詞島体験倶楽部の支援など
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して野生のイルカが観察できるという全国に誇れる観光資源がある。 ・イルカウォッチング以外の観光資源が乏しく、地域が賑わうまでに至っていない。 ・地域の伝統や文化が若い世代に引き継がれているとはいえない。 ・内野川河川沿いや国道沿線の景観を守るため環境保全活動を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○おもてなしの心を育むまちづくり ・通詞島探検隊の支援 ・二江ぐるっとウォークの開催 ・通詞島スロートーリズム支援事業など ・景観整備活動
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館単位での自主的な活動体制が確立されているものの、各種イベントへの参加者が減少してきている。 ・地域づくり活動への参加者が固定化、高齢化してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の絆を深めるまちづくり ・夏祭り開催 ・広報PR活動 ・美術展の開催
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化と人口減少により地域の活気が失われつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○心豊かな人のいるまちづくり ・子どもデイサービス
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・体力増進、健康保持に努めている人がいる反面、全く運動をしない、検診を受けない人も多い。 ・少子高齢化の進展や小学校の統合により、人と触れ合う機会の少ない孤立した生活を送る高齢者が増えつつある。 ・商店街にあったスーパーの閉店により、買い物に不自由している高齢者が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生き生きと暮らせるまちづくり ・町民体育祭の開催 ・新春通詞島ウォーク ・敬老会開催 ・一人暮らし高齢者の支援など
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・根付きのイルカが息をするなど、全国に誇れる豊かな自然環境に恵まれている。 ・安心安全な生活環境を保持していくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心安全なまちづくり ・ボランティア活動の推進 ・環境美化活動の推進 ・防災訓練の実施など

二江地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期		長期			
				R5	R6	R7	4年以上		
A	二江はやさき市の開催	地元漁師等で構成するマリン部会による二江産魚介類の直接販売	各年3回開催					振興会	
A	二江産加工食品の商品開発	魚介類や塩などの二江産のものを取り入れた商品開発	通年実施					振興会	
A	通詞島体験倶楽部の支援	ユメール、地元漁師、民宿などで組織した実行委員会に対し、事務面・経費面で支援する	100人以上の参加					振興会	
B	通詞島探検隊の支援	製塩所や歴史民俗資料館、島の宝100景に選定された自然豊かな通詞島を案内人と一緒に散策する。	30人以上の参加					振興会	
B	通詞島スローツーリズム支援事業	地元を訪れた観光客が、電動自転車で二江の町なかを散策(ユメール4台、出張所4台)	50人以上の参加					振興会	
B	二江ぐるっとウォーク	せどやの散策、恵比寿様巡り、三天宮参拝、漁船乗船、炭焼きアワビ付きの昼食、抽選会などの内容で開催	200人以上の参加					振興会	
B	ふたえ花いっぱい事業	ツツジを植栽した内野川河川敷の除草作業と施肥を行う。	通年実施					振興会	
B	漁村センター周辺美化作業	天草を代表する観光地としてのイメージアップとおもてなしの気持ちを伝えるため、季節の花苗の植栽や除草作業を行う。	通年実施					振興会	
C	二江夏祭りの開催	昼の部のペロン体験乗船、夜の部のステージイベント、抽選会など2部構成で開催	1,000人以上来場者					振興会	
C	広報PR活動(二江オリジナルグッズの製作販売)	タオル、手ぬぐい、シール、マグネットなどをユメール、イルカセンター、出張所にて販売。	10万円以上の販売					振興会	
C	広報PR活動(情報誌発行、ホームページ更新)	地域の身近な出来事やイベントの記事を作成し、情報誌やホームページに掲載。	情報誌年2回発行 HP随時更新					振興会	
C	人材育成、先進地研修	振興会会員の資質向上や地域の目的に沿った情報を収集するため、視察研修を行う。	年1回実施					振興会	
C	ふたえ冬の美術展「みんなのギャラリー」	保育園、小中学校、高校、一般の方々の作品を展示し、また期間内に物産販売市を開催。	出展者100人、来場者1,000人以上					振興会	
D	子どもデイサービス	放課後や長期休業中の昼間、遊びを主とする健全育成活動を行う場の提供を行う。	通年実施					振興会	
E	二江町民体育祭	園児、小中学生、高校生、一般から高齢者までが対象となるダンス、徒競争、巧緻競争などの種目を行う。	1,000人以上の参加					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

二江地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
E	新春通詞島ウォーク	二江在住者・出身者、勤務者に限定して開催。ウォーク、絵馬奉納、ぜんざい、抽選会の内容で開催	200人以上の参加					振興会	
E	敬老会	敬老の日に、金婚夫婦と新75歳に記念品等の贈呈、小学生の作文朗読、演芸の部からなる敬老会を開催。	200人以上の参加					振興会	
E	一人暮らし高齢者の集い	70歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に講話、昼食、余興の内容で開催。	年1回実施					振興会 社協	
E	一人暮らし弁当配布	毎月1日に弁当を配布する。(7~9月・1月は飲み物配布・訪問のみ)	毎月実施					振興会 社協	
E	友愛訪問	年末、各地区の民生委員の手渡しによる茶葉配布と近況の生活状況を確認する。	年1回実施					振興会 社協	
F	世代間交流事業	上方地区のみ、子どもと高齢者による七夕会を開催して交流を深めている。	年1回実施					振興会	
F	二江ボランティア隊活動	振興会事業の各種補助や清掃・除草活動などを行う。	通年実施					振興会	
F	防犯パトロール	登下校時の見守りや年末年始のパトロール活動を行う。	通年実施					振興会	
F	一日一汗運動	自治公民館単位で活動範囲を決めて、除草やゴミ拾いなどの活動を行う。	年1回実施					振興会	
F	防災訓練	消防署職員や消防団員の協力を得ながら、救急救命や放水などの訓練、避難訓練、防災マップの更新作業を行う。	年1回実施					振興会	
F	防災マップ作成	各支部単位(自治公民館)作成してある防災マップの更新作業を行う。	年2回実施					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

二江地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
	該当なし								

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p>(井手神社の風景)</p>	
面積(km ²)	13.0		
人口(人)	総人口		923
	15歳未満		104
	15～64歳		422
	65歳以上		397
高齢化率(%)	43.0		
就業人口(人)	第1次産業		115
	第2次産業		81
	第3次産業		276
世帯数(世帯)	総世帯数	346	
	高齢単身者	62	
行政区数(区)	4区		
学校	-		
文化財・史跡	<ul style="list-style-type: none"> ・天草四郎の座り岩 ・尼港事変受難碑 ・三岳観音(磨崖仏) ・下内野の六地藏 ・下内野城址 		
その他地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・やさい村(農産物直売所) ・おおくす ・デコポン ・バンカン ・イチゴ ・芹生柿 ・内野川ツツジ ・犬殺し柿街道 ・芹生の郷 		
地域伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・井手神社秋祭り ・鬼の城パーカッションキッズ ・オンノジョー 		
地域づくり団体	<ul style="list-style-type: none"> ・柿の会 ・もへじ會 		
地区のいいところ・自慢できるところ			
<p>手野地区は、南北に流れる内野川やその支川沿いに広がる平地と、標高の低い中山間地域に農地や集落が存在している。主な産業は農業で、河川沿いの農地ではイチゴやトマト、葉タバコなどの施設作物が、山間部ではデコポン、バンカンなどかんきつ類の栽培が盛んに行われている。</p> <p>このような農村環境の中で、地域の女性グループ中心に、とれたて野菜や惣菜を安く販売する「やさい村」といった地域に根差した自慢のお店もあり、地域の人のみならず他の地域からも多くのお客さんが来店している。</p> <p>他にも、まちづくりの新たな動きの中で、地元住民により動き出した「柿の郷づくり」でのコミュニティビジネスや景観づくりの活動、若者が主体の地域づくり団体によるイベント開催など、人と人とのつながりが濃い地域でもある。</p>			
地区が抱える課題・困っていること			
<p>①住民の高齢化 少子高齢化に歯止めがかからず、地区の人口は減少するばかりであり、地区の行事自体の存続が危ぶまれている状況にある。更に、独居や高齢者のみの世帯が増え、買い物等日常生活に支障をきたしている世帯も出始めている。</p> <p>②農業後継者の不足 地区の基幹産業である農業において後継者が不足しており、遊休農地が増加傾向にある。</p> <p>③まちづくり活動の形骸化 振興会活動のうち、振興会発足以前から継続して実施してきた活動(イベント)の一部には形骸化しているものがあるが、活動の目的等を再検証し、効果的な事業となるよう見直す必要がある。</p> <p>④キーパーソン不足(人材不足) 人口の比率的に団塊の世代以上の割合が高く、若手が活躍する場が少ない。それに伴い若手のキーパーソンが育たないため、事業や活動の見直しや新たな実施など活動に発展性が見られない。</p>			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	人と人との絆で結び生きがいのある支え合う地域づくり
考え方	これまで連続と引き継がれてきた独自の文化や風習、美しい自然環境は住民にとっての財産であるとともに、地域のシンボル、宝でもある。これらの宝に再度「光」を当てつつ、さまざまな分野において多くの人が関わりながら宝を磨き続けることにより、地域の絆は強まるものとする。このような活動により生まれる絆を大切にしながら、若者から高齢者まで全ての人々が地域に誇りを持ち、安心して「住み続けたい」と思えるような「芹生の郷」の創造を目指していく。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・田畑等農地の耕作放棄地が目立ってきている。 ・農業の担い手や後継者が少ない。 ・若者が定住できるような雇用の場が少ない。 	○活力と豊かさのあるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・産業文化祭 ・産業ビジネス支援事業 ・「手野・芹生の郷」支援事業
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・手野の春の風物詩となっているツツジを活用したウォーキングを開催している。 ・少子高齢化で後継者不足、人口減少が心配。 ・郷土芸能や散策ガイドなどコミュニティ活動のキーパーソンが高齢化し担い手が不足している。 	○地域資源を活かしたまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・料理教室 ・ふるさとの味伝承会 ・ツツジウォーク
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツや文化など様々なイベントを開催しているが、地区振興会の役割が増大し、役員の負担が大きくなっている。 ・少子高齢化及び過疎化が進行し、地域活力が低下している。 ・高齢化が進み行事への参加者が年々減少している。 	○心豊かな人のいるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスタ ・芹生の郷交流事業 ・まちづくり情報誌発行事業 ・芹生の郷景観デザイン化推進事業
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいづくりとなる自主サークル等が少ない。 ・子育て世代の共働きが増え、学校の長期休暇中の児童の世話に苦慮している。 	○心豊かな人のいるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・自主サークル活動 ・手野地区児童クラブ
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が高く、若い人が少ない。 ・高齢者の移動手段、買い物不便になってきている。 ・老人会組織が解散するなど、高齢者の集う場所が減少している。 	○生き生きと暮らせるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ささえ愛ネットワーク事業 ・敬老会 ・生き生きプロジェクト事業
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の地域で河川の清掃が高齢化に伴い、実施できない状況にある。 ・何のコミュニティにも属していない高齢者が増え、地域において孤立する恐れがある。 ・核家族化が進み助け合い支え合いの精神が低下している。また、災害時における情報（見守り）が不足している。 	○安心安全なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・河川清掃、河川愛護事業 ・防犯パトロール事業 ・高齢者見守り活動 ・自主防災組織活動 ・EM菌普及活動

手野地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
A	産業文化祭	・農産品の展示と即売会、文化作品展示 ・グラウンドゴルフ大会、役員によるバザー ・その他企画展の開催	年1回開催					振興会	
A	産業ビジネス支援事業	・良質な柿の生産と流通体制の確立や安定的な販売体制の確立のための取り組みを行う	通年実施					振興会＋ 芹生園＋ 手野風蔵	
A	「手野・芹生の郷」支援事業	・農地集積等の推進、農地の保全活動に 取り組み、優良農地等の維持に繋げる	通年実施					振興会＋手 野地区農業 施設保全会	
B	料理教室	・地域の伝統料理や創作料理を若い世代 に受け継ぐため、食生活改善推進委員の 指導による料理教室を実施	年1回実施					振興会(自 治会部会)	
B	ふるさとの味伝承会	・食生活改善推進委員の指導による調理を 手野地区在住の中学3年生対象に実施	年1回実施					振興会(自 治会部会)	
B	ツツジウォーク	・内野川沿い両岸約4kmのツツジロードを 巡る約5kmのウォーキング大会を開催	4月開催					振興会(自 治会部会)	
C	スポーツフェスタ	・手野6地区の対抗戦で実施 (種目：ニュースポーツ等)	年2回(6月・10 月)開催					振興会(体 育部会)	
C	芹生の郷交流事業	・新入児童数の鯉のぼり設置 ・身近な自然を取り上げた環境学習 ・昔の遊びや食べ物等の伝承	通年実施					振興会	
C	まちづくり情報誌発行事業	・地域話題を中心に振興会活動等を掲載	年1回発行					振興会	
C	芹生の郷景観デザイン化推進事業	春のツツジ、秋の柿と手野の風物詩となっ ている芹生の郷の景観の維持管理	通年実施					振興会＋ 柿の会	
D	自主サークル活動	・住民が必要とする自主サークル活動への 支援(五和地区公民館等との連携含む。)	通年実施					振興会	
D	手野地区児童クラブ	・長期休暇中に小学校低学年を対象とした 手野地区児童クラブ(学童保育)を実施	春休み、夏休みに 実施					振興会(福 祉部会)＋ 社協	
E	ささえ愛ネットワーク事業	①ふれあい弁当等の配達 ②高齢者の集いの実施	①年3回実施 ②年1回実施					振興会(福 祉部会)＋ 社協	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

手野地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
E	敬老会	・75歳以上の高齢者及び金婚夫婦(参加者約150人) ・式典、郷土芸能、敬老作文朗読等	年1回実施					振興会(福祉部会)+社協	
E	生き生きプロジェクト事業	・芹生の郷杯グラウンドゴルフ大会	年2回開催					振興会(福祉部会)+社協	
F	河川清掃、河川愛護事業	・内野川沿い両岸約4kmのツツジの維持管理 ・地域内の河川や道路の清掃	通年実施					振興会	
F	防犯パトロール事業	・隊員による定期的なパトロール実施 ・防犯関係ののぼり端設置	通年実施					振興会	
F	高齢者見守り活動	・独居及び高齢者のみの世帯を対象に見守り活動を実施	通年実施					振興会(福祉部会)+社協	
F	自主防災組織活動	・防災マップの更新 ・防災訓練の実施 ・災害時対応マニュアルの作成	通年実施					振興会(自主防災会)	
F	EM菌普及活動	・EM活性液、廃油石鹼等を製造し、無料配布	通年実施					振興会(環境部会)	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

手野地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
	該当なし								

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	13.1	
人口(人)	総人口	834
	15歳未満	69
	15~64歳	374
	65歳以上	391
高齢化率(%)	46.9	
就業人口(人)	第1次産業	88
	第2次産業	79
	第3次産業	259
世帯数(世帯)	総世帯数	345
	高齢単身者	58
行政区数(区)	4	
学校	無	
文化財・史跡	<ul style="list-style-type: none"> ・上野原神社の大楠 (高さ約20m、幹回り7m、天草屈指の大楠。樹齢約500年といわれ、遠い昔から神木としてあがめられています。) ・高島宮(九州最古の石段) ・城木場城址 (城域は約350m×170m、丘陵地で、志岐氏の出城として築かれた。) ・三川城址 (中世の城址で、3つの川の合流点にあったことから三川の名がついた。) 	
その他地域資源	ホタル、いくり、芝桜、天草空港、五和ダム、五和東部ダム、鬼の碁盤石、鬼のせっちん	
地域伝統芸能	城木場神社秋祭り	
地域づくり団体	区長会、ひまわり会、花蛍、長寿会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>天草の空の玄関「天草空港」と五和町の水源「五和ダム」「東部ダム」の2つのダムを有し、緑の山々と田園の風景が広がってます。春には芝桜が咲き、初夏にはホタルが舞う、豊かな自然があふれている地区です。</p> <p>平成14年8月に他地区に先駆けて、住民自治組織(城河原地域づくり振興会)を立ち上げ、地域の課題解決に向け取り組んでいます。</p> <p>活動としては、「住民総参加」を基本方針に、地区の各種団体や地域の人たちが参加し、天草空港を活用した福岡の小児病棟にホタルを運ぶホタル便やホタルフェスタ、体育大会等のイベントから特産品開発、防犯ボランティア・パトロール、自主防災等、多岐にわたり取り組みを行っています。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>少子高齢化や農業後継者不足により、耕作放棄地の増加、産業振興の低迷等が挙げられます。</p> <p>また、地域づくり活動は多岐にわたっているが、活動の停滞や事業のマンネリ化、コミュニティ活動をする住民の固定化・高齢化などが挙げられる。これらの課題解決のため、幅広い世代からの人材を活用し、事業内容及び組織の継続的な見直しを実施していく必要がある。</p>		



(内野川ホタルロード沿いの芝桜)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	ホテルの里で きらめく 城河原
考え方	<p>城河原には、ホテルの飛び交う豊かな自然とその自然を育む心豊かな人たちがいます。これらの貴重な財産を活かし、いつまでも煌いている地域を創っていくために、将来像を上記のように決めました。</p> <p>一人ひとりが自分にできることから取り組むとともに、お互いが協力しながら「安心して暮らせ、ここに住んでよかった」と思える、そして「どこよりも煌いている」城河原の実現をめざします。</p>

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・山の幸をはじめ、多彩な産品・加工品(いくりのリキュール、ジャム等)・郷土料理がある。これらを未来へ継承するとともに、地域の収入確保に繋がるよう販路拡大を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな資源を活用したまちづくり ・五久里(いくり)を活用した加工品化事業 ・産業文化祭
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、ホテルのイベントを実施しているが、ホテルのエサとなるカワニナが近年の豪雨や河川工事等により流され、ホテルの数が激減している。 ・町外からの来訪者が少ない。 ・農業系ゴミが河川に散乱している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○おもてなしの心を育む事業 ・ホテルが飛び交う環境づくり事業 ・ホテルフェスタ事業 ・ホテル便交流事業 ・中山間地域等直接支払い交付金制度活用事業 ・一日一汗運動事業 ・花の植栽事業 ・ホテルロード清掃活動 ・植物観察会
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルが飛び交う川など豊かな自然と天草の空の玄関口「天草空港」を有しており、これらの資源を活かし、他地域との交流の促進、地域経済が潤うようなシステムづくりが必要。 ・高齢化が進み、イベントへの参加者が減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の絆を深める事業 ・広報誌発行事業 ・ホームページの活用 ・球技大会 ・体育大会
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の減少が著しく子どもの数が少ない。 ・スポーツ、文化活動に親しむとともに、教養の向上や生活文化の振興を図っている。 ・未来を創る子供たちを地域で支え、安心して子育てできる環境の整備・充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○心豊かなまちづくり ・アカペラ合宿 ・世代間交流事業(餅つき体験) ・城河原の風景フォトコンテスト
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が45%を超え、今後も一段と高齢化が進むと予想される。健康意識の向上を図り、住民みんなが協力し合い明るく楽しく暮らせる地域づくりが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生き生きと暮らせるまちづくり ・敬老会 ・ひとり暮らしの集い ・施設慰問事業 ・健康づくり交流事業(グラウンドゴルフ大会) ・地域福祉ネットワーク事業 ・サロン推進事業
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会で、年1回避難訓練を実施している。 ・児童の下校見守りを実施し、安心安全なまちづくりを目指している。 ・安心安全な生活環境を保持していくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心安全に暮らせるまちづくり ・弁当配布サービス事業 ・防犯ボランティア・パトロール事業 ・防災に強いまちづくり事業 ・EM活性液普及活動 ・ホウ酸団子作成配布事業

城河原地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
A	五久里(いくり)を活用した加工品化事業	スモモの一種であるいくりを活用し、加工品(リキュール、ジャム等)及び原料の販路拡大を進める。また、継ぎ木などを進め収穫量の増を図り、ワインの商品化に取り組む。	令和5年度までにワインの商品化実施	→				振興会	
B	ホタルが飛び交う環境づくり事業	近年、河川の改修や増水によりホタルの餌となるカワニナが減少しているため、カワニナの増殖活動(内野川支流15箇所)を行い、ホタルの棲みよい環境を目指す。	餌のしかけ年5回実施	→				振興会	
B	ホタルフェスタ事業	ホタルを核とした地域の一大イベントで、小学生の環境学習発表会、環境分野の講師を招いての講演会、EM活性液の無料配布、特産品販売、ホタル鑑賞会、お楽しみ抽選会等を実施する。	来場者2000人以上	→				振興会	
B	ホタル便交流事業	天草エアラインを活用し、五和小学校の児童が、福岡の小児科病棟の子どもたちにホタルをプレゼントし、蛍についての発表をしたりゲームをしたりして交流をする。新聞・テレビ等に大きく取り上げられ、城河原のホタルの里づくりのPRにつなげる。	天草空港、五和小学校と連携して継続する。年1回実施	→				振興会 + 五和小	
B	ホタルロード清掃活動	ホタル見学者の転倒等の危険防止と環境整備のため、ホタルの乱舞する季節の前にホタルロードの草刈を実施する。	年1回実施 継続して実施する。	→				振興会	
B	中山間地域等直接支払交付金制度活用事業	中山間地域等直接支払交付金制度を活用し、地域の景観作物(ひまわり、レンゲ)の作付け、EM活性液による河川浄化等を実施する。	継続して、交付金を有効に活用する。3箇所作付実施	→				振興会	
B	一日一汗運動事業	地域住民及び子どもたちの環境に対する意識向上を図るとともに、環境美化が保たれるため、道路や河川のゴミの収集・清掃活動を実施する。	年1回実施 継続して実施する。	→				振興会	
B	花の植栽事業	県道沿線、旧城河原小学校、城河原運動広場周辺等に花を植栽する。	年2回 継続して実施する。	→				振興会	
C	広報誌発行事業	広報誌『城河原地域づくり振興会・公民館だより ふるさと』を発行し、地域の情報を発信する。(発行部数;650部/回)	年に3回発行。 継続して、地域の情報発信を行う。また、ホームページとも連携する。	→				振興会	
C	球技大会	住民の健康増進を図るとともに、住民相互の親睦と融和を深めるため、ソフトボール、ミニバレー、グラウンドゴルフを実施する。	継続して実施する。 年1回実施 200人以上の参加	→				振興会	
C	ホームページの活用	イベント、地域の話、広報誌等を発信する。また、特産品販売のコーナーを設ける。	広報誌とも連携し、地域の情報を発信する。 更新回数50回以上	→				振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

城河原地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
C	体育大会	保育園児や小中学生、高校生から老人会の方までが集い、各種競技を通じ、地域の連帯感を醸成するため実施する。	年1回実施。 見直しを行いながら継続して実施する。	→				振興会	
D	アカペラ合宿	夏休み期間中に、むらさきのうえ(アカペラグループ)の指導で全国の大学生が集い城河原で合宿を行い、地域との交流を深める。	合宿参加者70名 コンサート観覧者300名以上	→				振興会	
D	世代間交流事業 (餅つき体験)	地域住民と小学生の世代間交流を目的に、餅つき体験を実施する。	30人以上の参加 継続して実施する。 開催期間:12月	→				振興会	
D	産業祭	地区で生産、製作された農産物、加工品等を一同に展示するとともに、展示された農産物等を格安で販売する市を開催し、農業の振興を図る。	継続して文化祭と同時開催する。 年1回実施	→				振興会	
D	文化祭	書道、絵画等文化作品を一同に展示し、文化の振興を図っていく。なお、産業祭と同時に産業文化祭として開催する。	継続して産業祭と同時開催する。 年1回実施	→				振興会	
E	敬老会	高齢者の方に敬老の意を表し、敬老の日に75歳以上を対象に敬老会を実施する。 金婚夫婦及びダイヤモンド婚夫婦の表彰や記念撮影、子どもたちや地域の方たちの発表を行う。	150人以上の参加 見直しを行いながら、継続して実施する。	→				振興会	
E	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を対象に交流・親睦を深め、生きがいを感じてもらおうと日帰り旅行として実施する。 地域の役員やひまわり会との交流を行う。	継続して実施する。	→				振興会	
E	施設慰問事業	施設入居者を対象に年1回、民生委員が慰問する。	継続して実施する。 開催期間:7月	→				振興会	
E	健康づくり交流事業 (グラウンドゴルフ大会)	グラウンドゴルフを通して、交流と健康づくり・転倒・骨折予防を推進するため実施する。	継続して実施する。 開催期間:9月 100人以上の参加	→				振興会	
E	地域福祉ネットワーク事業	一人暮らしや昼間ひとりになる高齢者は生活に不安を抱えていることが多い。このため、地域で見守るネットワークの構築が必要である。地域での対象者を把握し、支援する体制をつくる。	支援方法等を話し合い、地域全体で支援する体制を確立する。	→				振興会	
F	防犯ボランティア・パトロール事業	地区の犯罪防止及び青少年の健全育成・非行防止を図り、安全で安心できる環境をつくるため、週1回、通学路の巡回パトロールを実施する。また、毎年、通学路の危険箇所点検を実施する。	週1回(毎週水曜日) 実施方法を見直しながら継続して実施する。	→				防犯パトロール・ボランティア隊	
F	防災に強いまちづくり事業	地区の災害に備えて、情報伝達、消火・救出・救護・避難等が迅速かつ的確に行えるようになるとともに、地域の防災体制の確立と防災関係機関との連携強化並びに地区住民の防災意識の高揚を図るため、毎年5月に避難誘導訓練、消火訓練等を実施する。また、防災備品の整備等を進める。	年1回実施 継続して実施する。	→				自主防災会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

城河原地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
F	弁当配布サービス事業	ボランティアグループ「ひまわり会」により高齢者を対象に月に1回弁当宅配サービスを実施する。	月1回実施 継続して実施する。					振興会	
F	防災マップの作成	避難行動要支援者や避難所を記した防災マップの作成。	年1回実施 見直しながら実施する。					自主防災会	
F	EM活性液普及活動	EM活性液を自治公民館へ無料配布する。一日一汗運動の際は、各地区の河川にEM活性液を放流する。	年4回配布 継続して実施する。					振興会	
F	ホウ酸団子作成配布事業	年1回、生活環境を保全・改善するため、ゴキブリ団子を作成し、地区住民へ配布する。	継続して実施する。					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

城河原地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	5年以上		
B	内野川ホタルロード植物観察会	城河原地域一体を散策しながら、地域に生育する植物を多くの方に知ってもらい愛着を持ってもらう。	20人以上の参加					振興会	
D	城河原の風景フォトコンテスト	四季折々の城河原の風景写真を募集し、優秀作品を表彰する。応募のあった魅力的な写真を活用し、城河原地区のPRにつなげる。	50人以上の応募					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。